

陰と陽

Bブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん&読者さんの声実況中

陽と陰

「俺は平気だよ」

君は気づいてくれただろうか
嘘をついて泣いていた陰の心

君は隣で笑っていた

辛いときは辛いと泣いていた
幸せにしたいと思った陽の心

僕は君に何ができるのだろうか？
きちんと支えられているのだろうか？
不安におびえた陰の僕

僕は寒さに震えていた

心を失ってしまいそうだった
暖めてくれたのは陽の君

君を受け止める僕の胸

僕を包み込む君の掌

そして青空の下で誓い合った

僕達の影は一つ

オーギュスト ローラン

二重人格者Auguste Laurentの手記

突然だが、ある告白をしよう。私には心が二つある。いわゆる二重人格というものだ。

今この瞬間の私は、普段私を知る者の考える Auguste Laurent そのものである。しかし、ふとした拍子にもう一つの人格が浮かび上がり、私の意識と取って代わるのだ。

私はその人格を、彼、と呼んでいる。

私と彼の記憶の互換性は完璧ではなく、意味記憶は共有できるのだが物語記憶においてはその限りではない。つまり、同じ知識を持っていてももう一方の思い出は曖昧にしか知ることができないのだ。

私はよく路地裏で自分の意識を取り戻す。彼が何故そのような場所にいたのかはよく覚えていないし、正直どうでもいい。この辺りで連続猟奇殺人事件が起こっていることもどうでもいい。そして、その次の被害者であろう物体が目の前にあることも。

私は彼で彼は私であると同時に、私達は別の人間なのだ。私の生活を壊さない限り私は彼の行動を制限しないし、彼の意思を尊重する。それは彼にしても同じであろう。

しかしその意思ゆえに不都合が生じることもある。通常、意識の切り替わりは一瞬で行われるのだが、もし不運にもその時私が誰かと一緒にいたら、その人は私の急変に驚くだろう。彼の意思と行動は、私のそれと違いすぎるのだ。

だが、たまにだがゆっくりと意識が切り替わることがある。

まるで自分という物が少しずつ削られ彼に領域を侵されるような感覚。一つの器での二つの意識の混濁は、吐き気を催すようでいてどこか心地好い。例えるならば、昼と夜が混ざり合う黄昏といったところか。

光も陰も意識も感覚も彼も私も、全てが一つになる。常人が体感することのできないその短い時間が、私は本好きだ。

俺 大嫌い

宣告

小学校の帰りの学活の鐘が鳴る頃、奴は配られた。何気なくそのはがきのようなものを開いてみた。そこで見たものは、

蛋白 陰性

潜血 陰性

糖 陰性

こんなようなものだった。

——おい・なんだよ、「陰性」って・・・ちゃんと前日にCCレモン抜いたのに。あせりながら周りの人たちのものも見てみる。

——みんな「陽性」って書いてある欄があるじゃねえか・・・

近頃、この手の病気に関する番組をみていたこともあり、急に不安になり始めた。その手紙をくしゃくしゃにして丸めて、友達との約束をすっぽかし、即効で家に帰った。家の鍵は閉まっていた。仕方なく自分の持っていた鍵で家に入った。

「おか、おか、おかあさん！！ねえ！おかあさん！」

俺は精一杯声を振りしぼって母親を呼んだ。だが、家には誰もいなかった。ふとテーブルに目をやるとラップに包まれた夕飯と置手紙が一枚。

レンジで温めて食べてね

母親には今日の夕方、用事があることを思い出した。

——なんでこんなときに・・・かあさん、携帯もおきっぱなしだよ。

不安で不安でしうがなかった。悩んでいてもしょうがないので、「陰」について自分なりに調べてみることにした。だがそれも不安を煽るばかり。「陰」についてはマイナスイメー

ジしか出てこない。

——ああ、俺の人生短かったな。まだやりたいこといっぱいあるのに。そう考えると、涙が止まらなくなってきた。

もう一〇分ぐらい泣き続けただろう。

がちぎ

「ただいま」

やっと母親が帰ってきた。

「おえっおえっ、おかあさん」

俺はすかさず母親に抱きついた。

「ごめんね、ひとりにさせちゃって。お留守番つらかった？」

ことの一部始終を話すと母親はたまらずふきだした。俺の三時間ほどの苦悩はたった一〇秒で吹き飛んだ。なんだか自分が馬鹿らしくなった。ただ、この日に飲んだCCレモンはまた格別な味がした。

「編集長、またクレームです」

「また、例のあれか？」

「はい。“陰”と“陽”です」

クレーム内容は決まっていた。

この社が出版している国語辞典の
“陰”と“陽”の意味の一部：

『陰：対立する両面のうち、消極的受動的な方。天に対して地、男に対して女、日に対して月など』

『陽：対立する両面のうち、積極的能動的な方。地に対して天、女に対して男、月に対して日など』
についてだ。

「内容は…えー…『女』消極的、受動的
というようのは偏見ではないか？』と
か『てか積極的とか消極的とかって男
女以外の例関係ないやん！』とか…」

「ハハハ、どれも正論じゃないか」

「笑い事じゃありませんよ。もう、『昔
の女性の内気で男性は陽気だったんで
す』じゃ誤魔化せませんよ」

「いや、しかしだな、今更意味内容をカットするわけには行くまい。今まで嘘をついていたのか、という問題になる」

「そもそも、なんで積極的だの消極的だのの意味が記されているんですか？」

「それはな。どうも最初の編集部の方々
の間で『女性』“陰険”、“腹黒”、“黒幕”
といったイメージがあつたようだな」

「いったい何があつたんですか、その編集部…？」

「しかし、わからなくてもいいだろう？」

「まあ…確かに、男は陽気というか能天気
で単純ですし」

「しかしまあ…書けないだろう？」

「…書けませんね」

こういうわけで、この社の辞典には何冊
改訂版が出て“陰”と“陽”の意味が改
訂されないのである。

愛しいあなた 恨めしいあなた

あなたに告げる感謝は、決して一言では表せない。

私達はあなたのために力を合わせ、知恵を絞り、そして喜びを分かち合う。
そうしてあなたがもたらした繁栄は、今も私達をあたためている。

あなたは私達を照らし続けてきた太陽

私達はあなたに何も出来はしない。

ただ、すべてを狂わせたあなたのことを、恨み続ける。
私達はあなたのために汗を流し、涙を流し、血を流す。

あなたの存在は私達の心に影を落とす。

だってまだ、あなたはこの世界のどこかで息づいている。

だから私達はまだ、あなたの名前を忘れられない。

忘れさせてくれない。

あなたは発展という光によつて生み出された陰

昔も今も、そしてこれからも

人から人へ 親から子へ 子からまたその子供へと
決して途切れることなく、あなたの名前は囁かれ続けるだろう。

あなたの名前は、「戦争」

薬を2つ買ってみた。

どこにでもいる平凡なサラリーマンとして私は良くも悪くもない暮らしを送っていた。中肉中背に生まれ、成績も運動神経も平均をとり続け、いまは無難な嫁と結婚し、業績もこれまた平均を貫いている。努力も怠惰も人並みで、向上心も特になくいまのままでもいいと思っていた。

同僚の並木は「陰の薬」を飲んで急に向上心に燃え始めた。

話を聞くと自分が低能な人間に思えてならないと言った。周囲の人間に負けないようにするのが精一杯だと言いながらも、並木は業績をぐんぐんと伸ばしていった。彼は大いに出世するだろうと皆が言った。仲のいい私が祝ってやると彼は悲しいような表情をした。自分の人生が人よりずっとつまらないと言い張るのだ。彼のその悲しい表情は薬を飲んだ日から、どれだけ暮らしが向上しても変わることはなかった。

薬はどちらかひとつしか飲めず、死ぬまで効果があるという。

同僚の中田は「陽の薬」を飲んで突然、会社を休み始めた。

電話で話を聞くと会社に行く意味が見出せないと言った。周りの人間より能力がある自分を、もっと発揮できる場があるはずといいながら彼はしばらくして会社をクビになった。長い付き合いの私が励ましてやると中田は幸福に満ちた表情をした。自分の気ままな暮らしがとても素晴らしいと言うのだ。彼は世の中の人間がつまらそうでみじめだとまで言った。彼はあれからしばらくして連絡がとれなくなった。

自分の人生が常に一方はプラスに、他方はマイナスに見える薬。

薬は2つある。飲まないこともできる。

——いま、私の決断は下った。

僕の日記

九月十日

今日数学の教科書を忘れた。

そしたら、隣の席のゆりちゃんが見せてくれた。
嬉しかった。

九月二十九日

放課後、ゆりちゃんが一人で本を読んでいた。

話しかけたかったけど、話しかけられなかった。

十月五日

今日は席替えがあつた。

ゆりちゃんと席が離れちゃった。。。

十月七日

僕は人生で初めて恋をしたのかもしれない。

最近、いつもゆりちゃんのことばかり考えてる。
早く学校に行つてゆりちゃんに会いたいなあ。

十月八日

今日もゆりちゃんはクラスのどの女子よりも

可愛かつた。

あんなに可愛くてこんな僕にも優しくしてくれる。

彼女は天使みたいだ。

十月十二日

今日、ゆりちゃんがYくんに告白されたみたいだ。

ゆりちゃんがOKしたらどうしよう。。。

十月十五日

Yのやつゆりちゃんと付き合いたらしい。

僕が先に告白してれば。。。Yうさい。

十月二十三日

帰り道、Yとゆりちゃんが手をつないで歩いてた。
くやしい。むかつく。

十月二十七日

あんなに可愛かつたゆりちゃんが

最近では歪んで見える。

何でYなんかといてあんなに楽しそうなんだ
憎い。ゆりちゃんが憎い。

十一月十四日

最近の僕の楽しみはゆりちゃんに嫌がらせを
することだ。

ゆりちゃんの困った顔は僕の欲望を最高に満
たしてくれる。

明日は何をしようかなあ。

陽気にハッピー

先日、近くの図書館から帰る途中に、一人しか通れない場所があつて、そこで前から歩いてきた婦人と鉢合わせた。いい天気だったし、気分が良かったので、ここは立ち止って道を譲ろう、レディファーストってやつ、いやあ、流石に粋なことするねえ、俺は、と思つて気前よく道を譲つたのだが、其の婦人の反応は「すみません……」であつた。もう一か所、一人しか通れない場所があり、またもや婦人と鉢合わせた。若干怯みながらも俺は右に同じく道を譲つたのだが、其の婦人二号も陰気に「すみません……」と機械的に云うのであつた。そこで俺は、むむ、もしくは、くぬ、と思つたね。何故むむ、もしくは、くぬ、と思つたかと云うと、俺は其の婦人を陽気にハッピーにしたかつたのであり、今日はいい日だなあ、と云う様なささやかな幸福感を持つて欲しくこのような寛大な善事を為したのであり、申し訳なさそうに謝罪される筋合いは毛頭ナツシングである。思うに、大多数の日本人が見知らぬ他人にいきなり親切をされたら、先の婦人コンビと同じ態度をとるのではなからうか。そんなことだから世の中が不景気で暗く、陰気なのではあるまいか。だから、他人から親切をされたら、ネガティブな「すみません……」ではなく、「ありがとう」と云うべきであり、「すみません……」はいかなる時も使うべきではない。そうすれば、親切をした方も陽気にハッピーになり、また親切をするという好循環ができて、ゆくゆくは世界中が陽気にハッピーになるのではないか！だから、先の婦人共の正しき態度は「すみません……」などではなく、両手を広げて、目を見開き、感激に胸を打ち震わせ、「ありがとう！」と云う様なものなのである。

この素晴らしい結論に到つた俺は、駅に到着し、発車間近の混んだ急行電車に乗り込んだが、うつかり、女子高生の尻を触ってしまった。女とは思えない凄まじい目で睨みつけられ、思わず、「すみません……」と云いかけたが、世界を陽気にハッピーにするため、すかさず、両手を広げて、目を見開き、感激に胸を打ち震わせ、「ありがとう！」と云うと左頬に衝撃が走り、電車から転げ出てしまった。発車した電車を見送りながら、漱石の兎角にこの世は住みにくいという言葉を思い出していた。

二つ。

光、明るい光。世界を造る物。いつまでも生きる永遠の物。
闇、暗い闇。世界を壊す物。いつまでも絶えない永遠の物。
山、大きな山。光に生かされる物。時とともに消え行く物。
谷、深い谷。闇に支配される物。しだいに浸食されゆく物。
土、ざらざらした土。生物を育む物。生物。命のかたまり。
水、流れる水。命を育む物。命。命。人の命。君の命。
人、二人の人間に造られた物。まばゆい光を放つ無限の物。
人、神に造られた物。全て決まった人生、道筋。有限の物。
生、終わる物。終わりまで続く物。でも決して終わらない。
死、終わった物。始まるだけの物。いつまでも終わらない。
真、表すことの出来ない物。この世界の内部。見えない物。
偽、表すことしか出来ない物。この世界。全てを満たす物。
表と裏。陰と陽。記憶。入れ替え可能な認識とその結果。

この素晴らしい世界へ

ボクは神だ

ボクが少し目を離していた間に人類という生命が栄え

この世界は変わったようだ

緑は刻一刻と減少し

高層マンションで空は狭くなってしまった

工業の発達と引き換えに海と空気が汚れ

昔の地球の面影はない

人間はいつの時代も戦争をやめず

子供が武器を手にする国さえある

日常生活においても社会が生み出した

ストレスに耐え切れない人間が現れ

人間が人間を殺める始末

そうでなくても金というただの物質を巡って

騙し騙されるような非常に醜い生物だと分かる

さらに人間は性格の違いによって集団を作り

その上で様々な問題を抱えているようだ

しかし陰の裏には陽があるように

人間はいつも泣き、笑い、怒り、悲しみ、喜び

数々の試練を乗り越え糧にしてきた

自然が織り成す災害にも他の生物が持ち得ない

知性という武器で対応してきたようだ

文明開化の代償や金にしたってそうだろう

便利な物に問題はいつもつきまとうものだ

人間同士の問題も深刻だが

それらの問題も全て彼らなら何とかしていくだろう

そんな気がしてくるのが人類の不思議な所だ

なぜボクはそんな風に思えるのだろう

おそらく人間は時に自ら問題を生み出してしまうかもしれない

しかしそこにはいつも笑顔があった

人間の笑顔にはその人間を前向きにさせる不思議な力がある

それに何より人類には未来という希望があるのだ

ああ、この世界は素晴らしい

ファミレス

陰「なあ、話があるんだ。」

陽「なあに？・・・わかった、どうせまたスロットで負けたんでしょ？だからいつもよしなつて言ってるでしょ〜も〜」

陰「違うんだ・・・あのさ、オレたち・・・、もう終わりにしたい。」

陽「・・・えっ・・・ど、どういうことなの、いったい、何があったの？ずっと一緒だったじゃない！」

陰「オレは、お前に甘えすぎたと思う。こんなんじや、お互いのために良くないと思うんだ。」

陽「どうして！意味分かんないよ！」

陰「お前が！お前がオレには・・・まぶしすぎるんだよ！」

陽「・・・そう思う？ほんとにそう思うの？・・・あたしなんて、全然まぶしくないじゃん。あなたに悲しい思いさせて、あたしなんて・・・全然ダメじゃん！」

陰「・・・」

陽「でもやつぱり、あたしたち、別れた方がいいのかもね。」

陰「陽子・・・？」

陽「あなたと一緒にいると重いよ！あなたと別れたら、あたしいろんなところに、大量に出荷されるわ、とっても経済的なよ！それにあなたサラサラしすぎ。」

陰「陽子・・・」

陽「でも、またいつか、会えるといいな。だって、あたしあなたがいないと、ダメなんだもん・・・またあなたと、ひとつになりたい！いい感じになりたい！」

陰「陽子・・・！」

陽「あなたはどのなの？いつもそうやって黙りこんでばっかで、ねえ、なんとか言いなさいよ！」

陰「いつか必ず！いつか必ず、オレが1人前になったら、迎えに行くよだからそれまで待っててくれるかい？」

陽「濃縮されて待ってるわ」

陰「これは終わりじゃないよ・・・始まりだよ。」

あーのど乾いたー

陰「いよいよだね。この時を待っていたよ。」

陽「いつまでもあなたについていくわ。」

陰「いつまでも君を離さないよ。」

「2人の恋は偶然に、2人の愛は必然に。」

コップに注がれた濃縮還元100%オレンジジュースは、少し甘酸っぱかった・・・

陽

陰

中庸

・ハワイ旅行当たっ

・仕事の都合が…。

・知り合いに譲る。

た！

・ジャンプはガキの

・かといってモーニ

・ヤングジャンプへ。

読み物。

ングは…。

・家出。

・行くアテはない。

・友達の家へ。

・イケメン俳優が好

・最近のドラマは飽

仮面ライダーで新

き。

きた…。

人発掘。

・核廃棄のためイラ

・見つからず。

・とりあえず統治。

クへ攻め込む

・夢：東大エリー

・ムリっぽい。

・夢：ビッグになる。

トコース。

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	世の中	2 pt さっくり真理。たしかにね、な今週の表紙でした。言葉をごろんと、こんなふうに警句として提示するならば、もっとリズムよく整えたほうが、よりキャッチーです。まあ、分かっているのも難しいのですけれど。 特別賞：誤字には気をつけま賞（短文なのに深い）タイプミス？で賞（隠→陰？）誤植で賞 イチオシフレーズ：「隠がなければ」	7 位	3 sp
A02	マタニティー・ダイアリー	19 pt ふとしたはずみで知ることができた、おかあさんの気持ち。 ていねいな描写のおかげで、心のささくれが治ってゆく気持ちに読者も自分のことのようにシンクロできます。 「間違い探しのよう」なんていうこまやかな表現が巧いなあとと思ってたら、そうですか実体験ですか、なあるほど。 実感こもったマイクコメントにも、しみじみでした。 おめでとうシルバー・メダル!! イチオシフレーズ：「窓から射す太陽がちょっと眩しい、気がする（←ここ大事）」	2 位	0 sp
A03	とある調査隊長の手記	0 pt なんだか恐い。その恐さの根源は、文体崩し。「南ぐもたちのふってくる」「フラッテイル」、彼らが崩れつつ、この世への名残をほとばしらせる怨念のカタチのようでした。 特別賞：星新一賞（星新一の作品に酷似している）	11 位	1 sp
A04	影鏡陰陽	10 pt 正統派なのに見せ方も巧い。 「鏡」という媒介項を起用して、陰と陽という抽象的なものに迫っていただきました。 「思う」という主観的な表現を意図的に減らしてゆくと、もっときっちりした正統派になれます。	4 位	0 sp
A05	十歳の夏	2 pt 陰気になりすぎて十円ハゲ。 コミカルに展開してのびかぴかのオチに爆笑です。 人の不幸なのに、気持ちよく笑えるのは、このトークのリズムの良さのおかげでしょう。 特別賞：円形脱毛賞 イチオシフレーズ：「そこには燦々と輝く真ん丸の太陽があった」	7 位	1 sp
		9 pt グシャア、がインパクト大。	5 位	0 sp

A06	狭間	横断歩道の都市伝説といった趣でした。きっと、このおじちゃんを生け贄に、このガキンチョはシャバに戻ってくるのでありましょう。 そう、明日あなたがここに行くと、こんどはおじちゃんが「あそぼ」って寄ってくるのですよ、ご用心。 イチオシフレーズ：「ねーおじちゃん」「しましまであそぶの」
A07	無題（夜がないと）	0 pt11 位2 sp うーん、そうだろうか、そうなのかな。白夜も夜か、ふむ。 なんて自問自答させるような。 「夜がナイト」ってダジャレだったのかなあ。 特別賞：手抜きで賞？ そりゃあそうだ賞（シンプルなのに永遠に問いかけてくるような特別な印象） イチオシフレーズ：「夜がないと朝はこない」
A08	光と影の優位性	2 pt7 位2 sp 光と影の、ニワトリ・タマゴ論争？ マジメトークしつつ軽いツッコミ。そこが親しみやすさになって、こんなに抽象的で哲学的な問いかけなのに、さくさく読めました。 特別賞：共感できるで賞 やっぱ同等で賞（短くてオチが上手い） イチオシフレーズ：「まるでオセロの4つ角～衝撃が走る」
A09	シアン化ナトリウム	23 pt1 位3 sp リズム命。軽快に刻んで、なのに悲劇、その匙加減がすばらしい。 これなら読者もイチコロね。いや恐いです。 イチオシフレーズ大賞のおまけつきの首位でした、おめでとう!!! 特別賞：イチコロで賞（ペロッ……これは青酸ナトリウム……!!） 犯罪で賞（200mgで死にます） 昼メロ賞（シアン化ナトリウム→カリウム） イチオシフレーズ：「シアン化ナトリウム」「これなら彼もイチコロね」×3
A10	かげろう【陽炎】	9 pt5 位2 sp かげろう、というきれいな言葉を軸に、突然の不幸のあらわれかたを炙り出そうという趣向でした。白昼に突然闖入してくる黒い悪魔、のような。 挙げられた三つの事例が、もっと陽炎ならではの「はかなさ」を備えていると、より説得的だったのでは。 特別賞：ち○このポジション賞（すばらしいジレンマがいい） 目のつけどころがいいで賞 イチオシフレーズ：「光にまみれた字面なのに、なぜ陰と無縁ではないのだろうか。」
A11	ランニング中の出来事	1 pt10 位0 sp ランニング中の思考だから、シンプルでポジティブ。動きのなかで、ある感懷を伝えたところが、全体の勢いになって成功しています。 イチオシフレーズ：「休んだからか、ペースがあがったような気がした」
		13 pt3 位1 sp

A12	さよなら私の太陽	もう、素晴らしいとしか。真田太平記を思い出しました。 1シーンを切り取りつつ、そのなかに過去をしっかりとフラッシュバックさせて、「雇い主」への熱い恋。泣かせます。おめでとうブロンズメダル!! 特別賞：見やぶられたで賞（常連さん発見、スピカ・楓・月下） イチオシフレーズ：「背中に日の出を感じた」
-----	----------	--

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	陽と陰	8 pt 陽がおだやかに陰を溶かして、二人は今ゴールイン。そんな結婚式場気分の今週の表紙でした。 BGMはきっとリストの愛の夢♪ イチオシフレーズ：「僕達の影は1つ」	5 位	0 sp
B02	二重人格者 Auguste Laurentの手記	14 pt おー、ラストで入れ替わったなあコイツラ、という仕掛けが楽しい。 自分の分身の「彼」が、じわりと自分を浸蝕してくる。その恐さに迫る描写が、とりわけ力こもって印象的でした。 Auguste Laurent って誰？ と気になったかたは検索してみましょう。 レイアウトにもしっかり時間をかけた甲斐がありましたね。シルバー・メダルおめでとう!!	2 位	0 sp
B03	宣告	11 pt まさかの実話？ いえいえ、ちょっとだけ実話、だったそう。な。 CCレモンという小道具もうまく効いて、小学生の悩み事、ユーモラスに届けていただきました。 人生なにごととも経験、といった気分に誘う読みやすさがヒットして、この激戦のなかでブロンズ・メダルとなりました、おめでとう！ 特別賞：みんな陽性で賞（えっ、なにそれこわい）可愛いで賞（解ってない。） イチオシフレーズ：「レンジで温めて食べてね」（with 絶望感）「ああ、俺の人生短かったな」	3 位	2 sp
B04	とある国語辞典 出版社の話	5 pt 笑い話のように見せて、辞書の定義のむずかしさへと思考を誘います。 ダメじゃん、こんな定義と笑いつつ、いざ代案を出そうとすると、超むずかしいですね。 イチオシフレーズ：「女性＝陰険、腹黒、黒幕」	9 位	0 sp
B05	愛しいあなた 恨めしいあなた	8 pt 戦争の両義性に照準をあてて、パワフルに両面を抉り出していただきました。 中央寄せのレイアウトは、波のようにみせて、こうして歴史は同じことを繰り返してゆくのですというメッセージだったのでしょうか。 特別賞：太陽賞（議論が白熱したので）	5 位	1 sp
		9 pt 人生なんて気の持ちようさ。自分次第で、どんな色にも染められる。 そんな観点を薬という具体的なモノで寓話化して、まこ	4 位	1 sp

B06	薬を2つ買って みた。	とに深い洞察力の発露でした。 陰の薬のほうが、じつは人生の成功者となるなんていう 皮肉もワサビに効いて、読者の選択へと開いたラストと もどもグレイトな仕上がりです。 特別賞：平凡って素敵☆賞（多分この人薬飲まないんだ ろうなー。）
B07	僕の日記	6 pt 8 位 8 sp 僕、何歳？「数学」なら中学生でしょうか。 無邪気に展開して、ラストでぞぞっという恐さの演出が 絶妙でした。 そして、ごらんくださいな、この特別賞の嵐！みんなこ んなにツッコミたがっているんです。ぶっちぎりで最多 特別賞でした。おめでとう!! 特別賞：ゆりちゃん可愛いで賞（想像図付き）ストー カーで賞（「僕」がストーカーっぽい）あるいみ優賞 （僕もいじめてください）陰険賞（まっくろ）実話de 賞（リアルないやらしさが伝わってきたから。）オレ だったらYからゆりちゃんを奪うで賞（男には守るべき ものがある。）最低で賞（子供だからいいけど、最低だ から）算数なら許せたで賞（設定が中学生はなんか嫌 だ） イチオシフレーズ：「ゆりちゃんの困った顔は僕の欲望 を最高に満たしてくれる」「明日は何をしようかなあ ☆」「憎い。ゆりちゃんが憎い。」
B08	陽気にハッピー	20 pt 1 位 1 sp すみませんより、ありがとう、ふむふむなるほどね、と 説得されてくると、ラストでオチがズドン。 オチつきの正統派なんて、流石に粋なことするねえ、あ んちゃん。ゴールドメダルとともにイチオシフレーズ大 賞もどうぞっ！おめでとう!!! 特別賞：瀬戸内寂賞（聴）（毛頭ナッシングだから…… 似顔絵付きB-10班グッジョブ!） イチオシフレーズ：「ありがとう!」×2「むむ、もし くは、くぬ」「毛頭ナッシング」「左頬に衝撃」
B09	二つ。	0 pt 11 位 0 sp 全てを対比的に、よくここまできれいに整えましたね。 特に「真と偽」のくだりのフレーズが深くて印象的でし た。少うし長めのフレーズをはさむと緩急が出てもっと 良かったかも。
B10	この素晴らしい 世界へ	2 pt 10 位 0 sp この神様、何歳でしょうか。 陰から陽へとポジティブ・シンキング。神だと言いつつ も何もしないで、ただ人間社会の移りゆきを眺めている だけのボク神が、ちょっとやんちゃ坊主みたいでかわい い。
B11	ファミレス	0 pt 11 位 1 sp 濃縮されて待ってるわ☆いい響きです。ジュースのCM で行けそうですね、これ。 で、おなかの中でふたりはどうなっちゃうの？とかは考 えてはイケナイのですよね、きっと。 特別賞：深いかもしれないで賞（一見、何か深そうだ が、理解できない）
		7 pt 7 位 1 sp 三拍子でワルツのように。 いやむしろ、座標軸の上に文章を置いてみたような。 新しい工夫でした。

B12	陽 陰 中庸	ラストのビッグが中庸、がツボ。 特別賞：ウルトラジャンプを読みま賞（マンガがからめてあってたいへんおもしろかった） イチオシフレーズ：「仮面ライダーで新人発掘」「とりあえず統治」
-----	--------	---